

# リンゴの里、歴史と文化、 豊かな環境を守り、 すぐれた制度を長野市へ

どんなことも  
みなさんと力を合わせて

「足、腰が弱くなったとき、どうやって畑を続けるか、それを考える」と本当に困っちゃう——ある会合で農家のお母さんが話してくれたことが頭から離れませんでした。

そんななかで、お隣の牟礼村などでは、農作業を手伝う人を派遣してくれる制度があることを知り、農村女性団体ネットワークのみなさんと他の町村を視察・調査しました。

しかし、「そんなことがうまくいくわけがない」などの声もあり、実現へのハードルは低くありませんで

した。こうしたなかで、粘り強く取り組み組んで、農業委員さんや農協の役員のみなさんにも積極的に働きかけて念願の「助っ人クラブ」をつくることもできました。

豊野町の女衆のバツグンの行動力が実ったのです。

保育料の引き下げや、児童館の新設、福祉バスの運行など、どんなことでも、町民のみなさんと力を合わせて、一歩一歩住みよい豊野をと取り組んできました。

みんなのでつくってきた豊野町が、さびれることなく、すぐれた制度を長野市にも広げられるよう、これからも全力をつくします。



浅川の治水対策のまとめ役・流域協議会の座長として奮闘。写真は、県議会3会派のみなさんとの浅川の現地視察（03年10月）

ご意見・ご要望を  
お寄せください。

豊野民報

日本共産党豊野町委員会 長野市豊野町豊野858-1 ☎215-3990

2005年1月号外

日本共産党の見解を紹介します。